

第4回県北地区新設高等学校統合検討委員会 議事録

期 日 令和4年11月10日(木)
時 間 午後2時02分～午後2時49分
会 場 一戸高等学校 会議室

1 開会(事務局担当校 岩手県立一戸高等学校副校長 新田剛史)

2 県北地区新設高等学校統合検討委員会委員長あいさつ(委員長 上野光久)

大事な報告、協議となる。新設校をより良いものにするため委員各位の御意見を頂戴したい。

3 報告

(1) 県北地区新設高等学校校名(案)について

ア 県教育委員会への報告(一戸高校副校長 新田剛史)

- 資料3ページを読み上げて報告。なお、3ページの資料は、10月17日付統合検討委員会委員長名で岩手県教育委員会教育長宛に提出したものであり、選定した4案に順位は付していないものである。

イ 校名(案)の決定について(学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男)

- 県教育委員会で決定した校名(案)等について報告。
- 第3回県北地区新設高等学校統合検討委員会において選定された「岩手県立北桜高等学校」、「岩手県立誠北高等学校」、「岩手県立北桜工科総合高等学校」、「岩手県立工科総合高等学校」の4案について、校名(案)候補の理由及び検討委員会における意見等を県教育委員に説明し、意見をいただいた。
- 教育委員の協議では、統合新設校に期待する想いや、校名(案)候補に込められた意味、統合検討委員会委員の皆様や地域の想いなど、様々な観点から意見が交わされ、1日では選考に至らず、2回に分けて協議が行われたところ。
- 最終的には意見が集約され、校名(案)については、「**岩手県立北桜高等学校**」とすることが適当であると判断された。
- その理由としては、県北地区に設置されることを示す「北」と、二戸市及び一戸町に共通するシンボルである「桜」を取り入れた親しみやすく明るいイメージの校名であり、両校の学びと伝統が引き継がれることを前提としつつ、将来の学びの内容にも対応できる校名が良いとしたためである。

質問、意見なし。

(2) 第4回総合課題検討小委員会（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・ 資料2ページ（経過報告）を読み上げて報告。質問、意見なし。

4 協議（議長 委員長 上野光久）

(1) 教育内容について（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・ 資料5ページ（新設校の学び及び学びの交流の例）を読み上げて提案。
- ・ 教育課程、両校の生活時程等は、統合課題検討小委員会に一任していただき、検討していくことを併せて提案。

資料内容、及び教育課程等の検討について承認。質問、意見なし。

- ・ <補足>（上野委員長）課題研究における「農業」と「工業」、または「工業」と「福祉」など「工業」と他の分野との学びの連携は、他の学校にはない新しい取組である。新たな「工業」、「農業」、「福祉」等の学びを考えることにより、生徒たちが新設校で学びを深めて、新しい地域を創るまでに発展できるのではないかと考える。今後、我々教員が力を入れていきたいと思っているので御協力、御支援をよろしくお願いしたい。

(2) 校章について（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・ 資料6ページ（両校の関係者に募集しデザイン化すること及び校章募集要項）を読み上げて提案。

資料のとおり承認。質問、意見なし。

(3) 校歌について（一戸高校副校長 新田剛史）

- ・ 資料8ページ（新たな校歌を作成する。福岡工業高校と一戸高校にゆかりのある方に依頼すること）及び別紙（両校ゆかりのミュージシャン SaToMantion の資料）を読み上げて提案。

資料のとおり両校にゆかりのあるミュージシャン SaToMantion に依頼する交渉を開始することで承認。

- ・（中嶋委員）校歌の作成に係る費用負担についてはどのようになるのか。
- ・ <回答>（学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男）統合検討委員会で、SaToMantionへ依頼することについて承認された後に交渉をはじめることとなるが、校歌作成に係る費用は、今後の交渉次第となる。また、高村委員、

中嶋委員から御意見のあった費用負担については、県費でおこなうこととして調整が付いたことを報告する。

- ・(高村委員) SaToMansion に依頼することとなった場合、歌詞のなど校歌の内容について要望することはできるのか。
- ・〈回答〉(一戸高校新田副校長) 依頼の方法次第であり、こちらの要望を伝えながら、歌詞や想いを入れてほしいことを事前に伝えれば可能なのではないかと考える。
- ・(上野委員長) 新設校のイメージとなる言葉を小委員会等で検討しながらとりまとめることとしたい。また、現在の両校の校歌や学校要覧などの資料を提供し、お任せすることとなるのではないかと。こちらの想いを汲んでいただき、より良いものができるようお願いしたい。

(4) 校訓について (一戸高校副校長 新田剛史)

- ・ 資料 9 ページ (校訓を**誠実、進取、創造**とすること) を読み上げて提案。

資料のとおり承認。質問、意見なし。

- ・〈補足〉(上野委員長) 新設校は、地域の担い手を輩出することが求められている。私たち教職員は県北地域、二戸地域の未来を支え創る人材を、新設高校から何としても輩出していかなければならないという思いを強くしているところである。この校訓のもとに進めていきたいと考えている。

(5) 制服について (一戸高校副校長 新田剛史)

- ・ 資料 10 ページ (生徒・職員の意見を参考にして新しい制服を作成し、令和6年度入学生から新しい制服を着用すること) を読み上げて提案。

資料のとおり承認。

- ・(高村委員) 制服の作成を委託するメーカーは、現在両校の制服を作成している業者だけか。
- ・〈回答〉(一戸高校新田副校長) 業者の選定に当たり、広く募集をかけていきたいと考えている。
- ・(高村委員) 東京オリンピック選手団のユニフォームを作成した AOKI や、動きやすいスーツを作成しているという WWS というメーカー、ワークマン等を含めて働く人のためのユニフォームを作成している業者も選択肢の中に入れられたらよいと考える。伸縮性のある布地で、軽く、動きやすく、着やすい制服に

なるようにお願いしたい。

- ・〈回答〉（上野委員長）確認だが、AOKI と WWS の 2 社を業者の候補として加えて欲しいという提案か。
- ・（高村委員）ワークマンやユニクロなどに依頼できれば、安くて丈夫なものとなると考える。また、安価な Y シャツは保護者にとってはありがたいであろう。格好いいものを検討していただきたい。
- ・〈回答〉（上野委員長）AOKI と WWS の 2 社を候補に入れるという提案である。
- ・（高村委員）東京都内の小学校や中学校は家庭で洗濯できる制服を採用しているようである。そのような機能性のある制服も検討していただきたい。
- ・〈回答〉（上野委員長）資料 10 ページ 1 の（3）、2 の（1）（制服の依頼業者の選定）において、小委員会の中で検討させていただくことでよろしいか。
- ・（高村委員）ネクタイがアクリルなので締めづらいので素材についても検討をお願いしたい。
- ・〈回答〉（上野委員長）前回の会議において、中嶋委員から良い制服を作ってほしいという御意見と、高村委員から格好いい制服を作ってもらいたいという御意見をいただいている。それらの意見を取り入れながら、地元への配慮を考えながら決定をしていきたいと思う。これらの御意見を参考に小委員会の方で検討していくことでよろしいか。
- ・（佐々木（由）委員）新設校の制服について、スカートだけではなくスラックスを選択できることを提案したい。これはジェンダーに関する視点と、新設校は、専門教科を学ぶ高校というコンセプトであれば、スラックスの採用は実用的ではないかと考える。
- ・〈回答〉（一戸高校新田副校長）そのように考えたい。
- ・（筒井委員）制服を定めることの確認と、運動着、体育着の選定はこの場ではないことの確認をしたい。
- ・〈回答〉（上野委員長）県立高校の場合、制服を作らなければならないという規則は特にない。制服がない高校もある。
- ・（筒井委員）制服を定めるということによいか。
- ・〈回答〉（上野委員長）よい。
- ・〈回答〉（一戸高校新田副校長）運動着、ジャージに関しては、小委員会等で決めていく。この場では制服を作ることを前提とした検討を行うこととする。
- ・（中奥委員）資料 11 ページに参考として各校の制服の写真が掲載されているが、制服でどこの高校生か分かることが大事であると感じている。また、先ほどの意見にあったように、スラックスを選べることも必要ではないかなと思う。

(6) 部活動について (一戸高校副校長 新田剛史)

- ・ 資料 12 ページ (現在、設置している部活動を維持すること) を読み上げて提案。

資料のとおり承認。質問、意見なし。

(7) その他

- ・ (鳩岡委員) 校名については県教育委員会が決定することである。委員の皆さんは前回の会議で十分に想いを述べられた。それを県教育委員会が検討して頂き報告をいただいた。学校の統合については大変経費のかかることであるので県教育委員会におかれましては、お力添え、御支援をお願いしたい。
確認であるが、資料 5 ページの学科の並び順は正式なものと理解してよろしいか。
- ・ 〈回答〉 (学校教育室特命参事兼高校改革課長 安齊和男) 高等学校設置基準によると大学科の並びは、普通科、専門教育を主とする学科、総合学科という順序であることから、工業学科、総合学科という並びの順となる。小学科の順序は、機械システム科、電気情報システム科の順となる。
- ・ (中奥委員) 校歌についての質問であるが、依頼先として SaToMation を提案した方はどなたか。
- ・ 〈回答〉 (一戸高校新田副校長) 小委員会において、校歌の作成をお願いするのに相応しい方について検討している際、両校の先生方から提案された。知名度もあり、両校の卒業生で構成されていることから相応しいのではないかと判断した。
- ・ (中嶋委員) 岩手日報の記事に、宮古商工高校の一体化について苦労しているとの報道が掲載されておりました。令和 6 年度の統合であるが、できることは令和 5 年度から進めていただき、よりよい学校となるように取り組んでいただきたいと考えている。
- ・ 〈回答〉 (上野委員長) 今年度、中学校での説明会が 6 月 16 日からスタートしている。来年度も 6 月中旬には新設校の説明をしていかなければならないことになる。再来年度の統合ではあるが、小委員会等で準備を開始していきたいと思う。

5 その他

- ・ 次回の検討委員会のスケジュール確認

6 閉会 (事務局担当校 岩手県立一戸高等学校副校長 新田剛史)

※午後 2 時 49 分終了